

2002年度

岩佐、順調な仕上がり 10000m2位、5000m3位

全日本実業団 (福島県:あずま)

岩佐敏弘

5000m 13分41秒25 (3位)

10000m 28分11秒84 (2位)

岩佐(大塚製薬)2位 男子1万

男子1500 今井5位

岩佐、仕上がり順調

○…釜山アジア大会日本代表の岩佐(大塚製薬、写真)が男子



1万5000mでスタート。ゴール手前で周回遅れのランナーとわずかに接触する不運もあり2位に終わったが「自分から勝負に行けたことがよかった」。

自らの持つ県記録(28分6秒89)に迫る28分11秒84をマークし、順調な仕上がりをうかがわせる内容。アジア大会の五千5000mでの栄冠獲得に向けて「疲れも取れ、いまは徐々に調子が上がっている状態」と、手ごたえ十分だ。釜山への出発を前に最後のレースとなる29日の五千5000mでは、さらに弾みをつけたい。

徳島新聞 9/29

02. 9. 30

大塚製薬勢

男子5000 岩佐と中野
男子800 ともに3位

全日本実業団陸上

陸上の2002年度全日本実業団対抗選手権最終日は29日、福島県宮あづま陸上競技場で釜山アジア大会代表らが出場して男女20種目があつた。6人が出場した徳島県の大塚製薬勢では、男子五千5000mの岩佐敏弘と男子八百500mの中野将春が3位入賞を飾った。男子対抗得点争いでは6位だった。

- ◇予選徳島県関係の成績
- 【男子】八百500m ⑥高橋圭太(大塚製薬) 1分57秒77 ①落選、④中野将春(大塚製薬)
- ① 1分51秒54 ② 決勝進出
- ◇決勝1位と徳島県関係の成績
- 【男子】百500m ①朝原宣治(大阪ガス) 10秒12 ② 大会新 ④ 四百500m 小林稔(富士通) 46秒40 ③ 八百500m ① 笹野浩志(富士通) 1分51秒45 ② 中野将春(大塚製薬) 1分52秒19 ③ 五千500m (タイムレース) ① サカヨ・ガン(ユニカ) 13分29秒91 ② 岩佐敏弘(大塚製薬) 13分41秒25 ③ 尾池政利(大塚製薬) 14分5秒63 ④ 山口勝司(大塚製薬) 14分35秒95 ⑤ シュニア五千500m ① 村上孝一(九電工) 14分26秒34 ② 服部元康(大塚製薬) 14分42秒19 ③ 百十

徳島新聞 9/30